

キャリア段位制度の導入について

社会福祉法人尾道さつき会
介護課長 村上佳代

平成29年6月29日「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」普及支援補助事業（広島県）セミナー資料より

制度を導入する目的

なぜ導入しようと考えたか

- 介護の基礎知識のない新規採用者が増えた。
- 法人内の様々な事業所でそれぞれ教育が行われている。
- 人事考課の評価が、人により差異が生じやすい。
- 経験の長い職員でも介護方法に自信が持てず、人に教えるのが苦手な人が多い。

導入することのメリット

- 教える職員も教わる職員も共通して理解しやすい。
- 事業所共通の評価ができる。
- 評価したことが人事考課に反映しやすい。
- 介護職員の自信や自覚につなげる。キャリアパスの仕組みをわかりやすく。

当法人の現状 . . .

- **アセッサー数** 8名
- **認定者数** 1名(申請中1名)
- **実施中** 4名

**十分進んでいるとは言えません。まだ導入段階です。
導入方法を工夫していく必要があります。**

導入に当たっての課題

- 評価の項目が多い。
- 全てチェック式ではなく記述式で手間がかかる。
- 評価に時間がかかる。
- 評価するための人や時間を確保する必要がある。
- 評価をする人によって見方が違う。



評価をしやすくして継続できる方法が必要

導入までの工夫

全体での取り組み

- 評価する職員の間を合わせる。
- 負担感を少なくした上で慣れてもらう。
- 人事考課制度の評価要素に入れる。

担当者での取り組み

- アセッサーは認定に向けて評価を行う。
- 評価の根拠の事例を増やし、記入時の支援にする。
- マニュアルの見直し

評価をしやすくする

- 末梢から中枢の順番で洗い、陰部は健側の手で洗ってもらったか。



- 末梢から中枢の順番で洗っているか。



- 陰部は健側の手で洗ってもらったか。

- 浴槽に入る時は、利用者に手すりや浴槽の縁をつかんでもらうとともに、バランスを崩さないよう身体を支え、入浴できたか。



- 浴槽に入る時は、利用者に手すりや浴槽の縁をつかんでもらったか。



- バランスを崩さないよう身体を支え、入浴できたか。

導入の初期段階

The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet titled "キャリア段位チェックシート 本誌 - Microsoft Excel". The spreadsheet contains a checklist with 6 items. The columns are labeled D, E, F, and G. The rows are numbered 16 to 20. A dropdown menu is open over cell B18, showing options A, B, and C. The status in column E is as follows:

	D	E	F	G
16	①末梢から中枢の順番で洗っているか。	—		
17	②陰部は健側の手で洗ってもらったか。	A		
18	③浴槽に入る時は、利用者に手すりや浴槽の縁を確実に でもらっている。	A		
19	④利用者が自ら身体を支えられているか確認しているか。	—		
20	⑤利用者が自ら体を支えられない場合に、バランスを崩さないよ う利用者の身体を支えているか。	A		
	⑥簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体 の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入	A		

尾道さつき会のキャリアパス

職位	レベル認定	
管理職	4	事業所管理者
専門職・指導職 1級	3以上4	グループリーダー統括
専門職・指導職 2級	3	グループリーダー
総合職 1級	2②以上3	エルダー(新人指導職員)
総合職 2級	2②	
一般職	2①	採用後1年未満

評価に関わる業務の改善

マニュアルの見直し

- ケアプランの作成
- 記録の書き方
- 苦情対応
- 感染症予防

研修体系の見直し

- 管理者やリーダーに対する研修を増やす。
- マニュアルを読み合わせる研修。

まとめ

- **導入してシステムとして動くようになるまでには時間も手間もかかる。**
- **キャリア段位制度の導入のために、業務や研修、評価体制など、法人全体の体制の見直しの機会になった。**
- **介護職員を育成するために、介護の基本的ルールを守ることを継続的に伝えることができる。**

ご清聴ありがとうございました。